

初:自分主催

【スポーツ・音楽・手話コラボ企画】

講演会テーマ

『可能性へのチャレンジ』

～少年の**歌**と**手話**が
勇気と自信を与えてくれた～



講師：大岩真由美
(HKFA副会長)

- 開催日：2025年9月21日（日） 9:30～11:30
- 場 所：伊達市れきしの杜カルチャーセンター講堂
- 参加者：北海道ろう者サッカー協会の皆さん
手話の会・聴力障害者協会・一般市民（約100名）

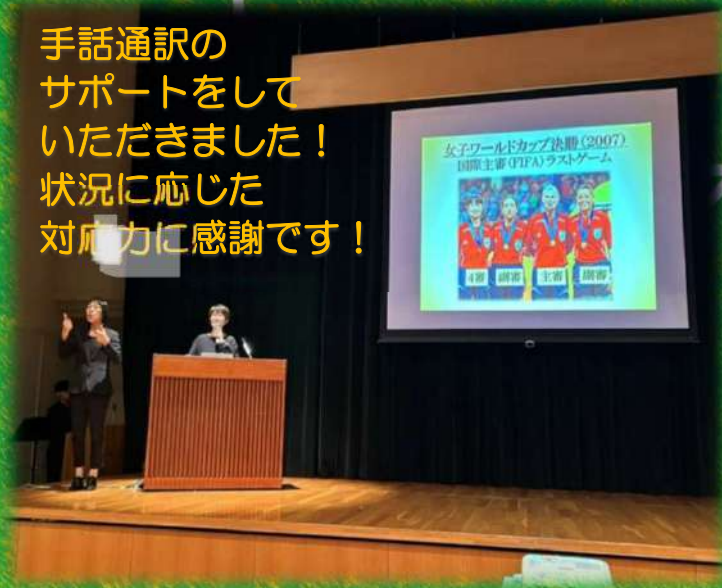
ご来場の皆様
ありがとうございました！



北海道ろう者サッカー協会
の皆さん(前列左から6人)

講演会の様子

手話通訳の
サポートをして
いただきました！
状況に応じた
対応力に感謝です！



手話通訳
3名配置

「北海道ろう者サッカー協会」と
11月東京で開催の「デフリンピック」
の紹介ポスターも会場に掲示！

少年が歌ってくれた 「歌」と「手話」を披露



手話愛好者も参加



バイオリンの演奏



♪歌詞「ビリーブ」

たとえば君が傷ついて くじけそうになった時は 必ず僕がそばにいて
支えてあげるよその肩を 世界中の希望のせて この地球はまわってる
今 未来の扉を開けると 悲しみや苦しみが
いつの日か 喜びに変わるだろう
I believe in future 信じてる



北海道ろう者サッカー協会の皆さん



【会長：石原 良 様】

講演では、大岩様が日本女性として初めて
国際審判資格を取得されるまでの道のりや
出会われた多くの方々、そして人生における
豊かな経験に基づくお話を伺うことができました。
大岩様の熱意と情熱は、参加者の皆様に
深い感動と勇気を与えました。



講演の一部として行われたミュージカルでは、歌と手話が融合した
パフォーマンスをお楽しみいただき、観客の皆様には大きな感動を生み
出しました。聴覚障害のある方々への理解と尊重がさらに深まる内容
だったと感じております。

北海道ろう者サッカー協会として、この場をお借りして登壇頂いた際
には、11月に東京で開催される2025デフリンピックとデフサッカー
についてのPRが行われ、今後の活動についての情報が共有されました。
大岩様が提唱される「サッカーファミリー」の一員として、HDFAと
してもデフサッカーの意識を広めていく取り組みを推進してまいりたい
と考えております。

改めて、大岩真由美様をお招きくださり、この講演会を開催できたこ
とに深く感謝申し上げます。次回もさらなる広がりと多様性を目指し
て、活動を一層充実させてまいります。

お忙しい中ご参加くださった皆様、そしてご協力くださった方々に、
心より感謝申し上げます。



北海道ろう者サッカー協会
Hokkaido Deaf Football Association

北海道ろう者サッカー協会の皆さん



【統括部長：中 真志 様】



先日は素晴らしい講演会にご招待いただき、心から感謝申し上げます。大岩さんが**歩んできた道**は日本の女性たちにとって、本当に**開かれた道**だと感じました。**サッカーファミリーとしての活躍**を拝見しながら、私たちにとっての刺激となっています。

今後も、**女子スポーツの発展に寄与するような活動**を応援したいと思っています。
改めて、**貴重な経験を共有**してくださり、本当にありがとうございました。これからも大岩さんのご活躍を楽しみにしています。



【会員：佐藤弘範 様】



講演会に招待を頂き本当にありがとうございました。
2007年女子ワールドカップの日本人初の国際女子審判員だった事は4級審判員の更新をする時にムービーで見えていましたが、**北海道出身**という事は知りませんでした。
「**人、チャンス、可能性**の」講演は凄く勉強になり、恩師の言葉『**お前が歩けば道ができる**』という言葉に染みて、講演会に参加できて良かったと思いました。本当にありがとうございました。



【会員：福田 肇 様】



日本サッカー協会**1級審判員**を取得し**女子ワールドカップ**の第4審判員を務めて日本人女性として初の大岩さんを知らなかったです。動画を見て凄い！素晴らしいです！
講演会に参加し、**大岩さんに会えて良かった**です。

北海道ろう者サッカー協会の皆さん



【会員：中川雄二 様】



講演会にご招待して頂き、感謝申し上げます。

大岩さんが人生を過ごしていたムービーを観て
凄く刺激となりました。

昔は男性しか出来ないことを、女性でも出来ることで
女性初の日本サッカー協会1級審判員資格取得を

達成したこと、現在でもサッカーの活躍を続けていること、大岩さんが
歩んでいた「道」が伝わってきました。

手話の歌「ビリーブ」を初めて聞かせてもらい、何度聞いても感動させ
られました。

演奏三浦さん、手話コーラス加藤さん、手話の歌「ビリーブ」を聴かせて
くれてありがとうございました。

大岩さん、本当に貴重な経験を共有して頂きありがとうございました。
これからも、大岩さんのご活躍を応援しています。



【会員：小坂竜大 様】



女性初の日本サッカー協会1級審判員資格を
取得したり女子ワールドカップの開幕戦で
日本人女性として初めて主審を務めて
凄い経験になったと思いました。

大谷室蘭の女子サッカーの監督となり、
動画から選手一人一人のプレーを観ていると

ゴールへの執念やゴールを守る必死さが伝わってきました。

やはり、優勝にかける思いは相当なものだと感じました。

特に体を張ってボールを奪ったり、素早い攻守の切り替えは

自分に足りないところだと思いました。ボールコントロールの技術だけ
では戦っていくことはできないと実感しました。みんなで守り、みんな
で攻める、というチームプレーも素晴らしかったです！

講演会に参加して良かったです！

サッカーファミリーより

【苫小牧FA 理事長：野田篤志 様】

スタート直後から言葉にならない感動があり、なぜ私の心が震えているのだろうと自分に問いかけながら、引き込まれていきました。
真由美さんの背中を押したといわれた「ビリーブ」を
ヴァイオリンの演奏、声楽家の方の歌唱、
手話通訳者の方の表現！ろう者とのコラボで音を
引き出した真由美さんのセンスに脱帽、そして感動！
言葉でこの感動を伝えることにはすごく抵抗を感じる。
私の感受性のみがこの空気の振動に揺さぶられている。
それ以外に言葉はありません。



最後の石原さん主導で、みんなでデフリンピック応援手話！会場の一体感がさらに空気を振動させた！講演後3名の手話通訳者の方たちが表現のあり方について反省会をされていたのを遠巻きに拝見させていただき、自分自身の活動もこうありたいと襟を正された。
全てサッカーファミリー！言葉だけじゃなく空気で広がっていくことを感じ、とても嬉しくなりました。ありがとうございました！

【空知FA 審判委員会女子部 部長：長浜杏名 様】

この度は、大変貴重な機会に参加させていただきありがとうございました。
大岩さんを救った「小さなヒーロー」のお話はこれまでの研修会や講話を通じて伺っておりましたし、「ビリーブ」という曲も昔から知っている曲ですが、大岩さんのホームタウンである伊達市で大岩さんのご友人の皆様「演奏と手話」で作られたあの時間はとても心が暖かい気持ちになりました。
大岩さんが勇気を持って切り開いてくださった道を大切にこれからも歩いていきたいと改めて思うことができました。
いつも私たちを気にかけてくださりありがとうございます。
今後ともご指導のほどよろしくお願いします。



審判仲間も遠方から足を運んでくれました！

一般の方々のメッセージをご紹介します！

声が通り柔らかな雰囲気とても聞きやすかったです。

「視覚」と「聴覚」に上手に訴えわかりやすく簡単にまとめているので聴きやすかったです。歌と手話が入った素敵な講演会をありがとうございました。

「デフリンピック」のことも「手話」を実際に見たのも初めてで沢山学ばせて頂きました。

「生の演奏」や「歌」もあり、優しく心地よい時を過ごすことができました！感謝を忘れず、日々を大切に生きようと思いました。

皆さんと「手話」ができて心温まり、私もこれから何かしら一緒にできる事、感動できる事に出逢いたいと、しみじみ思える時間でした！

色々な人とフラットに交流できる手段の一つ「手話」に興味持ちました！

どんな時も自ら考え前を見て、勇気をもって実行。そして常に出逢いや環境に感謝。だからこそ人と人を繋ぐというか素敵な人との出逢いがあるのですね！

コメントありがとうございました！

ろう者の方とのコラボ、良かったです！「サッカーを愛する気持ち」は変わらないですね！

音楽や手話が入ると重厚感が出るし、デフリンピックの時期とも重なり、何倍も楽しめました！

スポーツの世界を話題の入り口に、「いろいろな方がステージに立ち」「いろいろな方法でメッセージを送り」「いろいろな感性で共感する」・・・会場の全ての人々が一体となる感覚は、とてもあたたかく素敵なものでした。

自分が経験したことのない世界との距離が一步縮まった気がします。これから、新しい（経験したことのない）ことに目を向けて、そこで出会った人と「ともに」新しいことに挑戦してみたいという気持ちになりました。ありがとうございました！

関わっている方をとても大切にして、常に感謝の気持ちを持っている大岩さん、素敵です。それが、前に進める力にもなっているのかなと思いました。

今日の講演会を通して、新たに知らない世界を知ることが出来ました。ありがとうございました！

そこには一切「壁」なんてものはなく
会場が「手話」でひとつになった…

あの日の最後、北海道ろう者サッカー協会の皆さんが
登壇。石原会長が「デフリンピック」を表す手話を
会場の皆さんに教えてくれました。全員が手話に挑戦し



ている様子を見て「言葉にならない感動」を覚えました。

そう、むしろ「言葉」なんて
不要で、そこに相手を大切に思
う「心」が互いに、自然に生ま
れた素敵な時間でした…

『出逢い』に感謝！

私の想いに賛同してくれる、素敵な仲
間に恵まれて、兼ねてからの願いで
あった「少年の歌と手話（ビリーブ）」
を講演会で披露することが出来ました。
サッカーファミリーの一員である
「北海道ろう者サッカー協会」の皆さ
んとの新しい「ご縁」に恵まれ、とて
も嬉しかったです。

これからも微力ですが、私なりにサッ
カーへの恩返しを続けて参ります。

感謝



友人が朝見た虹を
送ってくれました！

